

## 子どもの口の診かた、考えかた

講師

日本歯科大学附属病院 小児歯科 教授  
日本歯科大学附属病院 病院長

内川 喜盛 先生 (74回卒)

### 略歴

- 昭和60年3月 日本歯科大学歯学部 卒業 (74回卒)
- 平成2年3月 日本歯科大学大学院歯学研究科修了 (歯学博士)
- 平成2年4月 日本歯科大学歯学部小児歯科学教室入局 助手
- 平成13年1月 日本歯科大学歯学部小児歯科学講座 講師
- 平成15年4月 日本歯科大学歯学部小児歯科学講座 助教授
- 平成18年10月 日本歯科大学附属病院 小児歯科 科長
- 平成25年4月 日本歯科大学附属病院 小児歯科 教授  
日本歯科大学附属病院 副院長
- 令和2年4月 日本歯科大学附属病院 病院長



子ども達が初めて出会う歯科医療は、将来の健康を維持するための大切な過程であり、重要な意味を持ちます。少子化、う蝕の減少といわれ久しい状況で小児の患者さんが減少したかということ、実際、小児歯科を標榜されている医院では定期診査、予防処置を希望されて早期から定期的に通われる小児患者は増えています。子供たちの口の成長を見守りながら、予防処置や指導を行い、正常な成長に及ぼす影響を早期に見つけ、対応するためには各成長期の口腔の特徴やその後の変化についての知識が必要であり、診る目が求められます。また、かかりつけ歯科医師の先生方には小児の歯科医療についてより多くの情報を持ち、子供たちの健やかな成長の支援者としてさらなる活躍が期待されています。

そこで今回は、かかりつけ歯科医として知っていただきたい乳幼児期の診察のポイントとその対応・処置についてお話する予定です。